

(仮訳)

プレスリリース

2014年1月12日

中央銀行総裁・銀行監督当局長官グループが、金融危機後の規制改革の最終化に向けて重要となる措置を承認

バーゼル銀行監督委員会(以下「バーゼル委」)の上位機関である中央銀行総裁・銀行監督当局長官グループ(以下「GHOS」)は、本日バーゼルで開催された会合において、金融危機後の改革課題に関する多くの重要な措置を承認しました。

GHOSは、本日、レバレッジ比率の共通の定義に関するバーゼル委の提案を承認しました。これは、会計基準の違いにより、これまで各国のレバレッジ比率の比較が困難であったことを解消するために、策定されたものです。詳細を定めた基準の全文は、バーゼル委より本日中に公表される予定です。国際的に統合的な銀行のレバレッジの測定方法及び開示基準は、国際的に活動する銀行に対するバーゼル III の規制枠組みの中心的な要素です。レバレッジ比率は、リスクベースの資本規制を強化する、ノンリスクベースの簡素な補完的指標として位置づけられています。

バーゼル委は、レバレッジ比率の実施のモニタリングを継続します。今後、2018年1月に第1の柱(最低所要自己資本)に移行することを視野に入れつつ、2017年までに最終的な水準調整や、定義の調整が行われる予定です。

GHOSは、安定調達比率(以下「NSFR」)の変更に関する提案についても承認し、バーゼル委が市中協議を近く開始する予定です。NSFRは、バーゼル III の規制枠組みのもう一つの重要な要素です。NSFRは、流動性カバレッジ比率(以下「LCR」)を補完し、銀行の短期の市場調達への過度な依存を防ぐことに特に焦点を当て、健全な資金調達を促進することを目的としています。2013年1月の会合において、GHOSは、NSFRの最終調整は2013年、2014年の重要課題であるとしていました。NSFRの見直しに関する提案にかかる市中協議の開始は、年内の枠組みの最終化に向けた重要な前進です。バーゼル委はこの市中協議文書を近く公表する予定です。

2013年1月の会合において、GHOSは、また、LCRに関し、①開示要件、②現在の適格流動資産(以下「HQLA」)の選定方法を補完する市場ベースの流動性指標の利用、③中央銀行与信枠とLCRの相互作用、の3点についても、更なる作業をバーゼル委に指示しました。

開示要件に関して、GHOSは本日、バーゼル委による流動性関連の開示に関する最低基準の提案を承認しました。また、市場ベースの流動性指標に関して、GHOSは本日、各国当局が、LCRの枠組みにおいてHQLAに該当するか否か判断する上で有用な、市場ベースの流動性指標の利用に関するさらなるガイダンスをバーゼル委が発出することについて、承認しました。

LCR は、流動性ショックに対する一義的な防衛線は、各銀行が自助努力によって備えを怠らないことであり、中央銀行はあくまで最後の貸し手であるべきとの原則に依拠して策定されています。他方、ストレス時には中央銀行が最も信頼できる流動性供給源となることも事実です。このためバーゼル委は、HQLA が不足している国で既に認められているコミットされた流動性と信枠については、LCR の枠組みにおいて一定の役割があるという見解に達し、本日、GHOS はその見解を承認しました。これらの与信枠の提供については中央銀行の裁量で決められることとなっていますが、その算入については、LCR の原則に反しないよう様々な制約が設けられています。バーゼル委は、上記変更を実施するための LCR の枠組みの改定を近く公表する予定です。

最後に GHOS は、バーゼル委の今後2年間の戦略的重点分野につき討議し、承認しました。危機に関する規制改革の最終化に加えて、バーゼル委は、①合意された改革の実施状況のモニタリングと評価、②規制枠組みの簡素さ、比較可能性及びリスク感応度のバランスの追求、③監督の実効性の向上、の3つの大きなテーマに焦点を当てる予定です。これらは、2014 年、2015 年の重要な作業となる予定です。

GHOS 議長であるマリオ・ドラギ・ECB 総裁の談話は次のとおりです。「銀行のレバレッジの国際的に整合的な計測方法が最終化されたのは、バーゼル III の完全な実施に向けた重要な前進です。レバレッジ比率は、リスクベースの資本規制を補完する重要なものであり、LCR と NSFR とともに、金融ショックに対する銀行の耐性を、過去よりも一段と高める一助となるものです」。

バーゼル委議長であるステファン・イングベス・スウェーデン中銀総裁の談話は次のとおりです。「意欲的な改革を終え、漏れのない整合的な実施を確保する上で、進捗は順調です。課題は残っているものの、バーゼル委は、危機に関連した改革を完遂し、これによって銀行システムの耐性をより高める方向にあります」。